



上越妙高駅周辺駐車場 降雪時も利用しやすく

平原 留美（つなぐ）



Q 令和7年2月の大雪時、上越妙高駅の市営駐車場が満車状態になったのは、どのくらいかまた、定期利用者からの苦情はなかったか。

A 1日のうち1回でも満車状態となったのは、2月5日から24日までの20日間で、最も多い西口駐車場で12日だった。この期間内に市営駐車場の定期駐車券利用者から、満車で駐車できないという苦情が3件あった。

Q 次の冬に向けてどのような対策を講じるのか。

A 冬期は上越妙高駅周辺の駐車台数が減少する可能性があることや公共交通機関の利用を促すことなど、事前周知の強化に努めるとともに、民間駐車場の事業者に対しても、引き続き粘り強く除雪の協力を求めている。



10年後の上越妙高駅前の姿は？

Q IT企業を集積した後の上越妙高駅前に、さらに必要なものは何か。

A 将来的には、上越妙高駅周辺地域をIT企業にとどまらず、多種多様な企業や団体、そして行政や教育研究機関などが集まり、産官学による共創によって、新たな価値やヒト・モノ・カネの循環を生むイノベーションを創出する場として発展させていきたい。



HPVワクチンの 個別通知の実施を！

山田 忠晴（公明党）



Q 令和7年3月末までに1回以上HPVワクチン接種を受けた方が、公費による接種を希望する場合、遅くとも令和7年12月末までに2回目、令和8年3月末までに3回目のワクチン接種を受けなければならない。対象者に個別通知を行い、ワクチン接種を促す考えはないか。

A 令和7年3月末までに1回以上接種し、7月末時点で接種が完了していない人は532人となっており、対象となる532人の方が、キャッチアップ接種期間内の令和8年3月末までに確実に3回接種できるよう、既に接種勧奨の通知を送付している。

带状疱疹ワクチン定期接種の接種率と助成は

Q 令和7年度から带状疱疹ワクチンが定期接種化されたが、現在の接種率はどの程度か。また、接種率向上のため、ワクチン接種推奨に向けた取組の状況はどうか。

A 国は原則として65歳以上を定期接種の対象者としており、令和7年7月までの接種率は11.3%となっている。広報上越や市ホームページにより周知するとともに、定期接種の対象者に対し、個別に通知を行った。

Q 接種費用の助成を拡充する考えはないか。
A 現時点では独自に接種費用の助成額を上乗せする考えは持ち合わせていない。



スポーツを活かした まちづくりを！

石田 裕一（みらい）



Q スポーツによるまちづくりのビジョンはどうか。

A スポーツ活動を通じ、人と地域が結び付き、活力ある地域社会の実現を目指すことである。

総合型地域スポーツクラブへの支援は？

Q 積極的な支援を行う考えはないか。

A スポーツ振興に重要な存在と捉えているが、収入減や指導者不足で解散する団体もあり、財政面や人材面での支援を協議している。

うらがわらスポーツクラブ主催
「うらスポマラソン大会」



地域・学校・地域青少年育成会議の連携を

Q 連携希薄化にどう対応していく考えか。
A 少子化や学校統廃合などの学校を取り巻く状況を見極め、それぞれの連携が時世に合っているかといった観点であり方を考えていく。

今後の小中学校統合の方向性は？

Q 少子化が進む中、今後の学校統合の方向と、廃校した地域の賑わい促進の取組はどうか。

A 統合前提でなく、望ましい学習環境の確保を念頭に置いている。また、廃校した地域については、資源を活かした学びの場の提供や地域活動への支援を行っていきたい。